



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

N o 5

令和4年5月30日

第1回 学校運営協議会開催

5月20日（金）、第1回学校運営協議会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、今年度初めて各委員が顔を合わせました。学校からは本年度の学校運営や年間学校行事予定、学校運営協議会の今後の予定について提案をしました。

また、樋口コーディネーターからこれまでの地域コーディネーターの活動報告、学校と地域関連の報告、今後の予定などについて報告がなされました。意見交換では、各委員からそれぞれの立場で活発なご意見をいただきました。今年度も「辛口の友人」として学校を応援していただくことになりま

す。どうかよろしくお願いします。

令和4年度 若松小学校学校運営協議会委員

	名 前	役 職
委員長	西城 彰男	若松地区社会福祉協議会会長 民生児童委員
副委員長	首藤 可奈子	PTA代表(会長)
委員	儀賀 博實	若松自治会長会会長
委員	垣内 茂夫	元中学校長
委員	西城 薫	大黒屋光太夫顕彰会事務局長
委員	中川 久子	自治会長、学童保育指導員
委員	万代 圭子	主任児童委員
委員	原田 吉次	地域づくり協議会会長
委員	紺谷 隆	地域づくり協議会事務局長
委員	児島 功	地域づくり協議会 鈴鹿市スポーツ推進委員
委員	池田 道彦	学校長
地域 コーディネーター	樋口 比呂磨	若松Jr.ふれあいクラブ、保護司
事務局	田中 通	PTA副会長
事務局	山中 幾代	教頭

【意見交換】

- ・今年度も地域の課題を熟議し、「協働型」で取り組んでいく。
- ・他の地区で地域と連携したニュースポーツ指導の取組があった。
- ・子どもの自尊感情が低いという課題に学校はどう取り組むか。地域に根差した活動を通して、子どもたちの自主的な行動につなげていくことが自尊感情を育てると考える。
- ・今年度の5年生の地域学習(フィールドワーク)に対して地域も協力したい。
- ・地域がすべてお膳立てして、子どもがお客さんにならないことを常に意識していく。
- ・昨年度の交通事故について、地域への情報が少なかった。看板の設置や付け替え等にも協力していきたい。
- ・学校HPについて、先生の負担はどのようなものか、また、児童の手による掲載はあるか。特色を出してもよいのではないかな。
- ・年間の取組がよくわかった。本年度からの取組を太字ではっきりさせてほしい。

なかよし班活動をしました

5月24日(火)の業間に、1回目のなかよし班活動をしました。6年生が1年生を教室まで迎えに行き、各教室で自己紹介をしました。上級生が自己紹介するのを見て、1年生もしっかり自分の名前や好きなことを発表できて、班のみんなから拍手をもらいました。



2年生 夏野菜を植えました



2年生が、5月26日(木)にJA鈴鹿の方と一緒に夏野菜の苗を植えました。子どもたちは、ミニトマト、トマト、なす、ピーマンの4つから自分が育てたい野菜を選んで植え方や世話の仕方などについて教えてもらいながら全員が植え付けました。毎日欠かさず世話をし、夏休み前においしい野菜が収穫できるのを楽しみにしています。

2年生が、5月26日(木)にJA鈴鹿の方と一緒に夏野菜の苗を植えました。子どもたちは、ミニトマト、トマト、なす、ピーマンの4つから自分が育てたい野菜を選んで植え方や世話の仕方などについて教えてもらいながら全員が植え付けました。毎日欠かさず世話をし、夏休み前においしい野菜が収穫できるのを楽しみにしています。



5年 ブックトーク

5月26日(木)の2限に5年1組、3限に5年2組が図書館指導員の杉野洋子さんから図書館でブックトークをしていただきました。まず、5年生の国語の教科書の

「図書館を使いこなそう」の単元にある「日本十進分類法」という、全国の図書館で使われている本の分類方法について説明をしていただきました。本の題名やタイトルを見ただけではどんな本かわからないが、分類番号を見ればその本の内容かがおおよそわかるようになっていきます。何冊かの本を例にどの分類になるのか、また分類番号を見てどんな内容の本なのかをクイズ形式で答えました。また、「ウェン王子とトラ」という本の読み聞かせもしていただきました。杉野さんが本を読み進めていくと、子どもたちも内容に引き込まれるように聞き入っていました。ブックトークがきっかけとなり、子どもが図書館に興味を持ち、積極的に読書に取り組むようになってほしいです。

